

退
県協
ニュース

第43号

NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
福島市山下町5-10 TEL.024-534-1144

発行責任者●伏見吉弘
印刷●陽光社印刷株式会社

県支部協議会第25回総会 10月30日対面方式による開催を決定

第4回地区協代表者会議 (9月8日対面方式) で提出議案を説明

… 再び増え始めたコロナ感染 防止の手を緩めずに …

第四回地区協代表者会議は、二本松市の男女共生センターにおいて前回同様対面方式で開催し、第二十五回県支部協議会提出議案等の説明を中心に行いました。

冒頭、伏見会長から各地区協日常活動の取り組みに対するお礼と組織の現状について挨拶があり、続いて菅野事務局長より総会提出議案の説明がありました。

第二十五回県支部協議会は、コロナ感染後初めて対面方式で開催することになりました。

主な提出議案は次の通りです。

- 一、会員拡大の取り組み
全国的には加入率が昨年に引き続き五十%を下回り、深刻な課題になっていますが、福島県協の新規加入者は二十九名で、加入率は九十・六%と高水準でした。今後もグループ連絡会と連携し、全員加入を目指して取り組みます。
- 二、組織と会員のコミュニケーションの充実・強化
会員や地区協議会との双方向コミュニケーションの充実を図り、行事、各種レク、サークル活動や、情宣活動の強化を図ります。
- 三、会員動向調査の実施

1. 一人暮らし・夫婦二人暮らしの会員が増えており、「仲間同士の助け合い」を意識し会員間の交流を進めます。

コロナ感染が増えています！
油断せず
防止策の徹底を！



2. 調査を活用し、非常災害発生時における会員の早期安否確認や、共済金等請求の迅速化を図ります。

四、自然災害への備え

いつ大規模災害が発生するか分かりません。改めて電通共済への加入や増口・大型タイプへの加入に取り組むこととします。

五、福島県議会議員選挙の必勝を目指します。

十一月十二日投票の県議選に、福島選挙区から高橋秀樹君（現四期目）と、いわき選挙区から古市三久君（現四期目）が立候補します。私たち高齢者の生活を守るため、両君の必勝を期します。

11月は県会議員選挙です

- 告示日=11月2日(木)
- 投票日=11月12日(日)



ふるいち みつひさ
古市 三久

1948年生まれ (73歳)
1967年 電電公社入社
2000年 いわき市議会議員当選
2001年 NTT退社
2009年 県議選初当選



たかはし ひでき
高橋 秀樹

1965年生まれ (57歳)
1984年 電電公社入社
1999年 NTT労組花園直轄分会長
2003年 県議選初当選
” NTT退社

福島県議会議員選挙は、11月2日告示、12日投票で実施されます。先に退職者の会県支部協議会では、組織内候補の高橋秀樹君（現在四期目、福島選挙区）と組織重点候補の古市三久君（現在四期目、いわき選挙区）の推薦を決定しています。

私たち高齢生活者の視点に立った政策の実現に向け、引き続き議会に送り出し、大いに活躍されることを願うものです。

それには何と云っても投票所へ足を運ばなければなりません。本人はもとよりご家族と声を掛け合い、投票所へ行きましょう！

棄権は危険

選挙へ行こう！

NTT退職者の会中央協議会の第二十五回全国総会が九月二十八日東京ドームホテルで開催されました。福島県支部協からは伏見会長が参加しました。（以下、総会模様を報告します）
退職者の会第二十五回総会が、九月二十八日（木）東京で開催されました。
今年の総会は、結成から五十年の節目の総会として開催され、総会後には記念レセプションが開催されました。

森嶋会長は、「結成当時四、〇八二名の組織が、五十年で二二六、〇〇〇名の大組織となった。しかし、現役組合員の減少と組織加入率が五十%を割る中で組織人員の減少が続いている。この状況は今後も続くものと捉えなければならぬ。全国的に組織診断を行い、新たなスタートをしなければならぬ」と危機意識を持ち、新たな五十年のスタートを切るとの決意を表した。来賓あいさつで、NTT労組中央本部の鈴木委員長は、「岸田政権は、NTTの完全民営化を含めNTTのあり方の検討をスタートさせた。しかし、本音はNTT株を売却し、防衛費の原資に当てようとするものであり、絶対許してはならない。NTT法の見直しと防衛予算確保は別物であり、切り離して検討をしなければならぬ」と訴えた。



NTT労組退職者の会 第三十五回総会開催される
「退職者の会結成から五十年」 伏見吉弘会長が参加

松川浦、東日本大震災・原子力 災害伝承館見学の旅

福島地区協議会 黒森 澄夫



福島駅西口バスプールに8時50分に集合し、バスで浪江の伝承館に向けて9時に出発しました。コロナ感染で皆さんと会う機会がなかったので、バスの中での再開を楽しみにしていたようで、にぎやかに会話が弾み目的地に向かいました。伝承館で

は、東日本大震災の記憶を振り返りながら、原子力災害等語らいながら見学をしていました。



次は皆さんがお楽しみの昼食会「なぎさの湊 夕鶴」で入浴し、飲食・カラオケで大いに盛り上がり、楽しく語り合いながら素晴らしいひとときを過ごしました。浜の駅松川浦では、新鮮な魚や海産物を家族や近所の親しい方へのお土産に沢山購入していました。帰りのバスの中でも話が尽きず、疲れも見せずはしゃいでいる人、疲れて寝ている人等皆さん楽しんでいました。16時45分福島駅西口に全員無事に帰ってきました。途中大雨で大変でしたが、それも良い思い出になったと思います。皆さんご参加いただき、ありがとうございました！

地区協活動報告

交流親睦会で無事を確かめ合う

須賀川地区協議会 紺野 武志

4月に計画して6月に初めての開催。皆さんが集まるか？不安でしたが、23名の会員の皆様が集まってくれました。



初めに、新役員体制での会長挨拶から始まり、参加した皆さんに一言、近況報告をしてもらいました。

瓶ビールで乾杯をと思ったら、お店に5本しかない“チョーびっくり”何とか間に合いましたが、今回は食事と皆さんと久しぶりの交流の場、そんなにアルコール消費はありませんでした（ホッとしました）。

今回、数年ぶりにお会いして、私が入社した時と同じ、皆さん“全然変わっていない”のにビックリでした。そのままの容姿です。皆さん若いです。中には、お腹が二段腹とか、しわが増えたとか、痩せた？太ったとか？面影はあります。また、橋本健二さんから、昔懐かしい“退職者花見の会”の写真等を見せてもらいました。わからない人が多く残念でした。

途中、商品券が当たるジャンケン大会や、次回に向けたイベントのアンケート等記入してもらいました。



11時から始まり、あっという間の3時間半でした。



15年間続く会員親睦交流ボウリング

郡山地区協議会 山ノ井茂喜

会員親睦を目的にボウリング大会はコロナによる中断があったものの、今年で第25回（年2回）の開催を迎える。代表としての降矢さんによる丁寧な運営と、参加者への気配り・フォローがあったからこそ長年継続されてきた。そして、郡山市の健康増進施策（ボウリングが平日1,000円で1時間投げ放題）を活用し、プロの指導を受け「腕」の上達とエンジョイボウリングに向けて取り組んできました。なんと、上位独占!! 情報労連郡山エリアボウリングフェス（2021年開催）では、団体戦で優勝・4位・5位・8位、個人戦では3位（大野博之）、4位（橋本雅美）、5位（外村雅彦）と日頃の練習の成果を遺憾なく実力を発揮することができました。

地震によって閉鎖!! 2021年の地震（2.13、3.16）によって郡山市内にあった2つのボウリング場が閉鎖となり、今まで通りのプレーをする条件が厳しくなっていました。探し出したボウリング会場!! 2年のブランクを克服して、今年の3月から「ボウリング交流会」がVEGA郡山という外観は倉庫らしい建物…。8レーンという小さなボウリング場…レーン等の維持を含め、ほとんどが手作業による運営・火曜日の午前中限定の会場です。

3月、6月に親睦交流ボウリング大会。そして、8月29日に第25回の大会を開催することができ、徐々にですが新しい参加者が増えつつあります。

ズーっと参加してきた上妻さん（今年87歳）も元気にプレーをし、健康維持に向けて楽しんでます。

参加者ひとり一人が無理せず、気楽に、楽しくできるボウリング!! ボウリングの取り組みは、郡山地区協の歴史であり、唯一の運動の誇りです。

〈第25回大会結果〉

ダブル戦（3ゲーム）HDCCP有 優勝：菅野・保科チーム1,083点、2位：村田・石井チーム1,053点（参考として、個人成績は大野博之497点、鈴木吉伸496点、武内孝男454点）



グラウンドゴルフで活動再開

三春地区協議会 長谷川 晋

今年も新型コロナウイルスの影響で会の活動が制限されてきましたが、コロナの扱いも変更される事となり、



4月の幹事会でグラウンドゴルフ大会を郡山のバーデン温泉で開催する事としました。

6月6日、13名の参加をいただき4チームに分かれて優勝を目指しました。

天候にも恵まれ、緑の芝生の中気持ち良く和気あいあいとプレイする事が出来ました。少し三春の芝とは違い、ボールの動きを読むのが難しかったようです。

プレイ後の振り返りの話題や、食事したり温泉に入ったりして昔ばなしに花が咲きました。

結果は、4名が同スコアで並び、1コース毎のサドンデスを行い、渡辺正さんが優勝し、桑山トミ子さんが準優勝に輝きました。

次回秋の親睦旅行の開催を願いながら解散となりました。



只見線乗車と鶴ヶ城・大内宿 一泊親睦旅行を実施

南相馬地区協議会 鈴木 茂

新型コロナウイルスが第5類になり、私たちの生活も元に戻りつつあります。

こうした中、去る7月12日～13日の日程で4年ぶりに、一泊親睦旅行を実施しました。4年ぶりということもあり、参加人数を心配していましたが、22名の参加のもと実施することが出来ました。



旅行のメインは今話題の只見線乗車で、楽しみを胸に出発しました。1日目は、最初の目的地鶴ヶ城公園。公園周辺を散策しましたが、天守閣へ登る元気のある人はいませんでした。

その後、大内宿へ。大内宿では、昔原町局で一緒に働いたことがある小林君と再会。一緒に大内宿を散策するなど楽しいひと時を過ごしました。

2日目は、道の駅尾瀬街道みしま宿で、よくテレビなどに出てくる第一只見川橋梁を展望し沼沢湖へ。湖の景色と涼風を満喫し、その後、会津川口駅から会津松原駅まで只見線に乗車しました。車窓から只見川に沿って絶景を堪能しました。

只見線を下車後、柳津観光物産館で昼食と買い物。「金山カボチャ」を買ったり、「会津名物のあわ饅頭」の購入に時間がかかり、予定時間をオーバーするなど四苦八苦しました。お土産も何とか揃い、旅行の行程表の最後、福満虚空蔵菩薩円蔵寺を参拝し、帰路につきました。

帰りのバスの中では、2日間の疲れも出て爆睡する人も。来年の希望を聞くと「海の幸が食べたい」と。

最後に、半谷会長・岡本電友会会長から旅行終了に向け挨拶を頂きました。「家に帰るまでが旅行、気を付けて帰ること」を確認し2日間の旅行を終えました。皆さんお疲れ様でした。



会津地区ボウリング大会開催

会津地区協議会 石本 光男



6月26日、会津地区親善ボウリング大会を行いました。屋内での行事は丸3年振り、喜多方・田島を含め20名(内、女性8人)が参加し、

競いました。健康のためにと毎週ボウリングをしている方や、昔やったが何年振りという方々もいて、大事な時のガーター、スプリットが出るなどゲームは大変盛り上がりしました。

優勝は2ゲーム共200点超えの443点を出した高橋賢作さん、2位は渡部隆広さん、3位には女性特権ハンデを生かした石本礼子さんが入りました。表彰式は弁当を食べながら行い、久しぶりの再会で話が弾む中、無事に終了することができました。



会員紹介コーナー



私の趣味 何事にもチャレンジ

南相馬地区協議会 小林 恵美

電電公社報が、私の机に廻って来た。見た所、余技作品展の全国大会が仙台で開催されることを知った。「よし挑戦してみよう！」と決めたが何を作れば…。手芸の部は刺繍かレース編となっていた。とりあえず文化刺繍を作り、仙台での全国展を見学に行った。

一位の作品は80cm四方の額いっぱい飛騨高山の風景を刺繍されたものだった。感動し、すぐ作者に電話をし、制作にどの位の期間がかかったか等聞き、次年度へ挑戦。なかなか題材が決まらず、ふすま絵を真似て作成し出品した。結果、東北では一位になったが、全国では三位まで入らず残念。また、前回一

位の人に電話をして聞く。すると審査員の先生の評は、その土地の独自性がないと駄目だという。また考える。そうだ私の地方には、相馬野馬追がある。でもその当時、今のようにポスターや絵のようなものが少なく、私には印刷技術もなく、作らなければとあせるばかり。でも野馬追で挑戦した所、東北で一位、全国で二位に入賞、福岡で全国大会があり表彰式に参加しました。



その作品が東北通信局、局長より「頂きたい」との話があり、原町局と贈呈に行きました。今も昔の局長室廊下に飾られているものと思っています。



その後は、人形作り、アートフラワー、陶芸、民謡、踊り、山登り、海外旅行と数多くの趣味を続け、現在に至っております。



NTT労働組合退職者の会全国交流集会は、六月、東京両国に百名超が集い、コロナ感染防止策を講じながら開かれました。森嶋中央協会長をはじめ、労組を代表して豊田副中央執行委員長の挨拶、三上企画組織部長から組織の現状報告、退職者の会の概要と当面の課題提起の後、『知っておきたい医療・介護・年金』と題した特別講演を受けて交流集会初日を終了。二日目は、六分科会に分かれ、メインテーマは「会と会員のコミュニケーションの充実」。三時間半にわたる討論会は自己紹介を含めた支部協、地区協の活動を報告し、全員の発言を受ける形となりました。コロナ禍にありながらも、工夫をして会員交流を行っている事、ある支部においてはバス二台を利用しての旅行や、GG大会の実施も数支部より報告がありました。また、長崎五島地区連からは、離島生活者が多く情報の配布、周知等に苦労している報告もありました。さらに、会員の高齢化、会員の減少、役員のなり手不足が深刻化している事、定年延長による会員の拡大に対する悩み等も各支部協より出されました。本部より、今後の方向として産別組織化を検討していることもまとめとして出されました。最後に、退職者はまだまだ元気を感ずる交流集会でした。

全国交流集会報告 (中央協主催)

石川地区協議会 手塚 英勝



会員動向調査が まとまりました

【会員動向調査】

調査期間：4月～6月末

会員数：2023. 4. 3現在

調査項目	福島	二本松	郡山	須賀川	白河	石川	三春	会津	いわき	南相馬	相馬	合計
会員数	648	124	347	98	134	86	71	435	383	101	46	2,473
配布枚数	592	123	346	98	133	82	71	432	375	96	45	2,393
回収枚数	570	107	202	90	103	61	67	298	374	93	44	2,009
一人暮らし	男性	34	3	16	2	8	1	9	23	5	7	108
	女性	41	11	17	2	6	11	10	27	31	3	166
夫婦二人暮らし	253	38	105	33	44	30	33	130	174	36	18	894
家族と同居	189	53	86	53	44	19	23	126	143	43	16	795
歩行困難				5								5
寝たきり				4								4
電話報告会員数	566	98	186	80	83	38	60	249	320	74	32	1,786
緊急連絡先報告会員数	503		146	77	103	56	66	275	320	89	36	1,671
施設入所	10	5	8	1	1	1	1	7	12	7		53
消息不明	1							1				2

各地区協議会に調査をお願いしましたが、会員の皆様にご協力をいただき、大変有難うございました。7月末時点でまとめた結果は右表のとおりです。(会員数は2023年4月3日現在です)

概要は以下の通りです。

1. 会員数は2,473名で、昨年比35名減となりました。
2. 「一人暮らし」は274名で、昨年比57名増加しました。
3. 「夫婦二人暮らし」は894名で、昨年比173名の増加です。
4. 「一人暮らし」と「夫婦二人暮らし」を合わせると1,168名であり、全体の47.2%が高齢者世帯です。(昨年度は37.4%)
5. 緊急連絡先報告会員数は1,671名で全体の67.5%であり、非常

時を意識し更に増やしていくことが求められています。

6. 会員動向調査の意義は、①不慮の災害発生時における早期の安否確認と、②万が一災害に遭われた場合、電通共催加入者への早急な共済金給付等に役立てることです。